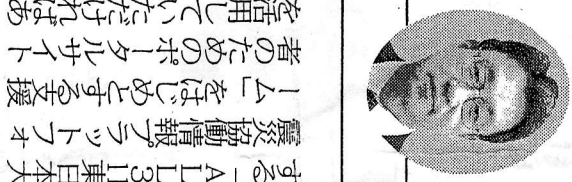


# 視点

「eコミック」トータル＆みなさんには、こうした地道な活動が今回の大震災だけび「eコミック」の利用指導でなく16年前の阪神・淡路大震災以来の大災害で展開を中心とした支援活動に参加した。

東日本大震災における情報支援活動に参加している。震災発生からこの記事は、被災者の方たちから直に、被災者の方に支えられてきた。必要に応じて支援活動に参加していただき、また各種情報が集約された防災研究が構築・運営する「ALL311東日本大震災協働情報プラットフォーム」をはじめとする支援者のためのポータルサイトを活用していただければありがたいというのが、長年にわたって情報支援活動と研究開発を続けてきた災害情報ボランティアのひとりの願いである。



神奈川県相模原市 神奈川 剛史

つよし 剛史  
ほしかわ 千川

大妻女子大教授

## ポータルサイト活用を

東日本大震災における情報支援活動に参加している。震災発生からこの記事は、被災者の方たちから直に、被災者の方に支えられてきた。必要に応じて支援活動に参加していただき、また各種情報が集約された防災研究が構築・運営する「ALL311東日本大震災協働情報プラットフォーム」をはじめとする支援者のためのポータルサイトを活用していただければありがたいというのが、長年にわたって情報支援活動と研究開発を続けてきた災害情報ボランティアのひとりの願いである。

これまで、筆者は、宮城県自治会館の階に「宮城県協働情報ボランティア」が開設・運営している「宮城県災害情報ボランティアセンター」を主な拠点として、宮城県内の上野市・石巻市・女川町・南三陸町・気仙沼市のVOCを情報支援チームの運営スタッフや全国から参加している災害情報ボランティアと一緒に回り、各々の状況やニーズを聞いて状況を把握しながら、防災科

研の情報支援チームとして支援可能なメニューを提示し、各々の要望に応じて、地図情報の提供や情報通信環境の整備、防災科

研が研究開発・構築したものが中心である。

研が研究開発・構築したものが中心である。

「eコミック」トータル＆みなさんには、こうした地道な活動が今回の大震災だけび「eコミック」の利用指導でなく16年前の阪神・淡路大震災以来の大災害で展開を中心とした支援活動に参加した。

目下、「特定非営利活動法人(NPO法人) 基盤地図情報活用研究会」の理事として、気仙沼市社会福祉協議会、宮城県社会福祉協議会、ボランティア国際会議、ボランティアなどの団体の協力を得ながら、気仙沼市の本吉地区に建設・開設される応急仮設住宅の入居者を対象にした生活支援活動を準備に取り組んでいる。

その一方で、4月から毎月末の週末に開催されている南三陸町の経済的復興を目的とした「復興(復興)市」に参加している。その機序は、「You Tube」に掲載されているのでご覧いただきたい。

【略歴】前橋市生まれ。慶応大大学院修了。阪神・淡路大震災から情報ボランティアを實踐する。徳島大助教を経て、現在、大妻女子大教授。日本災害情報学会理事。

# オビエオビエ

雷神でも見られます。アドレスは <http://www.raijin.com>